

学校名	路線名	通学路の状況	対策内容	事業主体
新通小	国道1号線	静岡駅方面からきた自転車にとっては、歩道橋の階段により、死角となっている。歩道橋の階段を下りると、ガードパイプがあるが、歩行者が、その隙間から「すき家」側に移動すると、自転車にとっては、人が飛び出してきたように見え、危険である。本校児童が自転車と接触する交通事故があり、危険性を認識した。	各担任から児童へ歩道橋を降りた後にガードパイプの所で、自転車が来ていないか安全を確認し通行することを指導した。	学校
井宮北小	伝馬町新田9号線	狭い道路であるが通行車両は多いのでグリーンベルトが設置されているが、塗装が薄くなっている。	グリーンベルトの塗り直しを実施した。	道路
井宮北小	伝馬町新田9号線	道幅が狭く、またカーブで見通しが悪いが、交通量が多い。登校時は車両進入禁止になっているが、下校時は規制がない。児童も車両も慎重に通行しているが、接触が心配な場面がよくある。	グリーンベルト及び外側線を設置した。	道路
足久保小	足久保口組原田団地1号線	通学路の道路と各家庭につながる歩道（さんさん小道緑地、ぽかぽか小道緑地、さわやか小道緑地）は、自転車で利用する人が多く、速度を緩めずに道路との交差点を通過することが度々見られます。児童は、道路横の歩道を歩いて登下校しているため、飛び出してきた自転車と接触する危険があります。	ラバーポール設置について自治会に確認し、ラバーポールを設置した。	道路
賤機南小	賤機南小西側線	入り組んだ形の交差点になっており、本校の児童が歩いたり、登校する中学生が自転車で通ったり、車が曲がって来たりと混雑しており危険性が高い。また、一方通行でないため、対向車のすれ違い時や雨天時など、いつ事故が起こるか大変不安な状況である。	停止線の塗り直しを実施した。	警察
安倍川中	安西五丁目南田町線	幅員が十分ではない道路で、朝の登校時間を中心に多くの車、自転車と歩行者が行き交う。外側線がないため、すれ違い時に車との接触が心配される。（すでに過去接触したことがある） グリーンベルトは安倍川中側の片側の設置を希望します。	グリーンベルトを設置した。	道路
賤機中	下福田ヶ谷線	自動車が来ている際に自転車が出てくることがあるため、急な飛び出しの際に事故につながる恐れがある。 「交差点注意」を消して、以下の画像のように「一時停止線（止まれ）」の標示を地面に希望することに加えて、「止まれ」の標識（看板）を付けていただきたいです。	巻込み部の外側線、誘導破線、クロスマーク設置を実施する予定。	道路
西豊田小	静岡草薙清水線	歩道橋のどちらの昇降口にポールが何本かある。どちら側のポールも1本ずつ折れている。そこにつまずき、児童が転倒する危険がある。	現地を確認し、破損していた4本のポールを補修した。	道路
長田北小	手越原鎌田線	空き家になっている家屋の壁がいたみ、崩れそうになっている。信号待ちをしているときや側を通行しているときなど危険である。	住宅政策課に情報提供し、建物所有者に管理の徹底を依頼した。 崩落の危険があったため、家屋の前から外れたところで待つように指導した。	道路 学校
大里中	中島南安倍線	周囲の樹木が原因で、北西側の信号機が見にくい。	街路樹の剪定を実施した。	道路

学校名	路線名	通学路の状況	対策内容	事業主体
東豊田中	国吉田池田2号線	登校時、停止線に停止しても、東側から坂を下ってくる車が見えないため、停止線先の路側帯あたりの位置での接触が心配される。また、東から坂を自転車で下ってくる生徒にとっては道が蛇行しているため西から坂を上ってくる車が危険。坂道は、朝、多くの車が行き交う。東から坂を下ってくる車が特に多いです。	11月の生徒地区長会にて、安全担当から当該箇所の安全な通行の仕方について説明し、生徒地区別集会にて、教員が見守る中、生徒地区長が当該箇所を通る生徒に同じ説明をした。1月の登校指導にて、当該箇所の担当教員から、安全な通行の仕方について指導した。今後も継続的に指導を行っていくこととした。	学校
東豊田中	聖一色宮上2号線	登校時、見通しが悪く、地面に「あぶない！！とまれ」と書かれた箇所で停止しても、東側から坂を下ってくる車が死角で見えないため、「とまれ」の道路標示の先で接触が心配される。坂道は、朝、多くの車が行き交う。東から坂を下ってくる車が特に多い。	11月の生徒地区別集会にて、教員が見守る中、生徒地区長が当該箇所を通る生徒に当該箇所の安全な通行の仕方を説明をした。12月に臨時の交通安全集会を開き、安全担当から、当該箇所も含め、交差点では必ず止まり、安全確認をしてから通行するよう指導した。今後も継続的に指導を行っていくこととした。	学校
東豊田中	池田10号線	南からT字路に進入する際、左右共に見通しが悪く、右折時に車との接触が心配される。右折した先の道路は、朝、多くの車が行き交う。東西どちらからも車が多い。	11月の一斉下校指導にて、当該箇所の担当から、当該箇所の安全な通行の仕方について指導した。生徒地区別集会でも、教員が見守る中、生徒地区長が当該箇所を通る生徒に当該箇所の安全な通行の仕方を説明をした。今後も継続的に指導を行っていくこととした。	学校
長田南中	下川原青木線	主要道路ではないが、焼津方向へ抜ける道路として交通量が多い。比較的に見通しの良い道路であるため、通行車両の多くがスピードを出し、危険である。多くの児童・生徒がこの道路を通り、東西南北に下校していくため、飛び出しによる事故の危険がある。	停止線の塗替えについては、本部上申済（本年度内実施）。横断歩道設置については、事業化次第施工予定。（実施時期未定） 路面標示「とまれ」「外側線」「クロスマーク」の引き直しを実施した。	警察 道路 学校
清水三保一小	塚間本村1号線	当該の横断歩道は道がカーブしていて先の見通しが悪いところにある。一時停止や減速等の標識が無く、車が速度が出ている状態のまま横断歩道を通過しているため危険である。また、車体が道路端まで及ぶ事があり、歩行者と接触する危険性がある。	神社入口向かって右側石積部の撤去作業を実施した。 ポストコーン設置を実施した。	道路 学校
清水三保一小	塚間本村1号線	可燃ゴミの収集場所となっている。収集日には路側帯にゴミが置かれて通行することができない。そのため道路の上を歩行者が通行していて危険である。	ゴミ集積場所の変更について町内会長と相談し、現在、集積場所を変更した。	学校
清水飯田小	八坂北一丁目天王東線	車が様々な方向から通行するため、周りをよく見て横断歩道を渡っても車の視認漏れが発生しやすい。	路面標示については、R6年度対応を検討している。 停止線、歩行者だまりについては、R6年度対応を検討している。	道路 警察
清水興津小	興津中町谷津線	幅員が十分ではない道路で、朝は多くの車と歩行者が行き交う。すれ違い時に車と歩行者との接触が心配される。令和5年度に本校保護者の車と、歩行中の本校児童との接触事故が発生した。	時間帯通行規制について、現在、連合自治会長を中心に要望書提出に向けて準備を進めている。見通しとしては今年度内に要望書を提出する予定。 時間帯通行規制については、要望書が提出され次第、実施可能か検討する。	学校 警察

令和5年度第2回通学路交通安全対策状況

学校名	路線名	通学路の状況	対策内容	事業主体
清水八中	渋川区画2号線	車道と近隣の家や塀、そこから出る植物などの影響によって歩行者の道幅が狭く広がってしまい危険な状況。	自治会に報告相談し、その土地の保有者に話をしてもらう。	学校
清水小島中	国道52号線	大型車が通る国道52号で道幅が狭くなっている。	令和6年度にグリーンベルト設置予定。	国道
清水両河内小中	大向福士線（和田島芋穴）	昨年台風15号の影響により河川が氾濫したため、道路が崩落し復旧工事を行って片側交互通行になっている。	R6年6月までには復旧工事終了予定。	道路
清水両河内小中	大向福士線	昨年台風15号の影響により河川が氾濫したため、道路が崩落し復旧工事を行って片側交互通行になっている。	復旧工事を実施した。	道路
清水両河内小中	高瀬福士線（中河内芋通）	昨年台風15号の影響により土砂崩れがあったため、復旧工事を行って片側交互通行になっている。	R6年6月までには復旧工事終了予定。	道路
清水両河内小中	高瀬福士線（清地外1）	昨年台風15号の影響により土砂崩れがあったため復旧工事を行っている。川と土砂崩れ箇所には挟まれているため、通行が危険である。	復旧工事を実施した。	道路
清水両河内小中	茂野島河内線	理由は不明だが、通行止めになっている。	復旧工事を実施した。	道路
由比中	富士由比線	市道寺尾倉沢線と県道396号 富士由比線をつなぐ細い道は、倉澤と寺尾に住む生徒の自転車通学用に設定した通学路。その道から県道396号 富士由比線を自転車を引いて横切るのだが、上り方向も下り方向も自動車から自転車を確認することが難しく、自動車との接触が心配される。	注意喚起の看板設置をR6年度対応予定。 倉澤・寺尾から自転車通学をする生徒に、細い道から県道に出る場所では、左右をよく見て安全を確認してから横切るように再度指導した。4月に年度始めの交通安全指導を再度実施する予定。	道路 学校
由比中	由比中学校線	由比中学校線は、登下校時に自動車の通行量が非常に多い道路である。ガードパイプ付きの歩道が整備されているが、学校近くの歩道だけガードパイプがない。その地点は南方向に低くなり、緩やかにカーブしている場所のため、登下校する生徒と自動車との接触を心配している。	12月の全校集会で、自転車の安全な通行について指導した。 今後も継続的に指導を行っていく。	学校